

優秀賞

一般建築物の部

建築主：学校法人成田山教育財団
設計：株式会社山下設計
施工：清水建設株式会社 千葉支店
所在地：成田市成田27

「空・緑・風」豊かな自然環境と調和する校舎

成田高等学校1号館



緑豊かな成田山を背景に佇み、スカイラインと呼応する外観 (撮影/エスエス東京 横瀬 博一)

この校舎は、明治31年創立の成田高等学校の創立115周年記念校舎整備事業として完成した。老朽化した校舎に分散する中学・高校の教室、事務機能、職員室の一体化をはかり、複雑な生徒動線の改善等を目的として、敷地内に中学・高校の機能を一つにまとめ「文武両道」の校是のもと、成田山公園を背景としてスマートな校舎が完成した。敷地北側の急斜面に対する安全性の確保も同時に図られている。また、従前からの植栽を可能な限り移殖して外構の再整備を行うことで、既存の自然環境を活かし、学園の歴史をつなぐ計画となっている。

正門に入って先ず目に付くのが建物正面に設けられた大階段。正面から丘の上の校舎へと階段を上がると、その先にはガラス張りのホールが生徒を迎え入れる。1日の期待に満ちた始まりを予感させるような巧みな平面計画である。

内部は、校舎全体をつなぐ「吹き抜け空間」を中心に計画され、その1階に図書室・学習・進路指導を融合したラーニングセンターが配置されている。多彩な学習機能やガラス張りの相談コーナーを吹き抜け周囲に配置することで、生徒と生徒、生徒と教師とのコミュニケーションを

高め、自ら学習する環境が計画されている。南面する教室と北側に成田山公園のある立地条件を活かし、自然採光と通風を活用すると共に、将来の教育環境の変化に対応できる校舎として計画されている。

門前町の中限られた敷地での建て替え工事、既存校舎を活用しながらの綿密な計画の実績も高く評価したい。
(夏目 幸子)



生徒間、学年間のコミュニケーションの促進を図る、光に満ち溢れた吹き抜け空間 (撮影/山下設計)



吹き抜けと融合した、ラーニングセンター(図書機能・学習機能・進路指導)を校舎の中心に配置(撮影/山下設計)